



# 森ボラ 通信

第 215 号 2020 年 4 月 20 日発行  
NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター  
TEL (fax): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

# 初めてだらけのボランティア体験記

スノーシュー履いて山歩き 手ノコを使って枝切り・伐倒 倒した木を抱えて運搬

まだまだ山に雪の残る 2020 年 3 月 28 日。「きれいな空気の中でおこなう森ボラは楽しいわよ～」と尊敬する合田さんから聞き、ワクワクしながら参加させていただきました。

場所は札幌市澄川環境林。地下鉄自衛隊前駅で待ち合わせした市山さんの車で現地の駐車場へ。そこから山道を下っていくと山小屋があって、その前に 15 人ほどの人が集まっています。ほとんどが男性。唯一の女性参加会員、西野澄子さんはなんと創設期からやってきたという大ベテラン。未体験の私に付き添ってくださり心強かったです。

班組み、自己紹介、ラジオ体操のあと「はい、これを使って」と、スノーシューと折り畳み式手ノコを手渡されました。どちらも手に持つのは初めて！

それらを持ってすぐに作業を始めるのかと思ったら…。そこから山道を歩く歩く。ずんずん歩く。重そうな機器をかついだ男性の皆さんは健脚ぞろい。歩くスピードが速い。途中からスノーシューを長靴に取り付け残雪の上をハアハアと息を切らせながら必死でついていきました。前を涼しい顔で歩いている西野さんは雪の上に落ちている枯れ花を拾って道端に置き、「これはノリウツギの花。こっちはツルアジサイの花。帰りに集めてリースを作るの」と。おうちステキなリースでいっぱいなんでしょうね…。

山道から外れて、いよいよ森林の中へ。整理伐といって、根元からたくさん生えてくる萌木を切ったり、腐りかけている樹木を切ったり、密集しすぎている木を切ったりするのだそうです。「チェーンソーで倒した木の枝を、手ノコで切って」と指示されたけれど、はじめは手ノコをうまく使えず木の皮をけずるのが精いっぱい。何度かやっているうちになんとか枝を切るできるようになり、ちょっと誇らしい気持ちに。すると今度は「木を切ってみますか」と。西野さんは直径 15cm くらいの堅いミズナラの木を指定。西野さんがバシッとナタを振るってクサビ形の切れ目を入れる。カッコいい！ 私は西野さんに指示された幹の場所を手ノコでゴシゴシ、ゴシゴシ…。

「切れない…！」(私)「じゃあ、私が切ってあげましょうか？」(西野さん)「いえ、やります！ミズナラさん、ごめんなさい…」(私)

「これを使うと切れがいいですよ」(西野さん大きな手ノコを貸してくださる) ゴシゴシ、ゴシゴシ…。とうとうミズナラが倒れた！ やったー！！

こんどは倒木を 2m くらいに切断して運ぶ。こんな重い木を腕にかかえて運ぶなんて絶対ムリと思ったけれど、やってみたらできた！ できないと思ったことができた喜び！！

思っていたよりはるかに肉体労働だったけれど、少しでも森の役に立てる充実感、幸福感は大きく、迷わず入会を決めました。

(注) 表題のスタイルは作者のオリジナリティーを尊重してそのまま掲載しました。



ミズナラ運搬のお手伝い(中央が蒔田さん)

ど、

## ◆ 2019年度 親子森林教室・森しり隊 第7回（最終回）活動報告

### 森の春の目覚めを感じ一年間のまとめをする

3月22日に2019年度第7回親子森林教室と修了式が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、澄川の森で行われました。この回のテーマ「森の春の目覚めを感じる」にふさわしく、うらかな陽ざしを浴びてネコヤナギも開き始めた澄川の森での活動でした。隊員12名、保護者他12名、協会員9名、総勢33名が参加しました。

2班に分かれて小屋近くの樹液採取場所めざしてスノーシューで歩きました。前もってイタヤカエデに取り付けてあったホースの下で、隊員たちは口を大きく開けて滴り落ちる樹液を味わいました。今の時期に樹液が出る理由をみんなで考え、実際にドリルを使って穴あけ、樹液の湧出、穴のふさぎ方を見ました。樞棒さんが3日間煮詰めて作ったシロップは「甘い〜」、「美味しい!」と好評でした。

その後は春の光に身も心もくつろいで、みな思い思いのペースで森を歩きました。根開け、タヌキの巣穴、クマゲラの食痕、動物の足跡、木の芽のふくらみなどを観察しながら小屋前広場に戻りました。タヌキの巣穴では鼻を近づけて「少し臭い〜」とにおいをかぐ人もいましたが、もちろんタヌキの姿を見ることは出来ませんでした。大勢の人の気配に、穴の中のタヌキは震えていたかも知れません。



イタヤカエデから樹液を採取し味わう



樞棒代表幹事から修了証を手渡す

次はいよいよ修了式です。最初に「いつでも澄川の森に戻ってきて下さい。一年間有難う。」と樞棒さんが挨拶を述べました。隊員たちは一人ずつ前に出て感想文を読んでもくれました。森林教室に参加して初めて見た生き物、体験できた活動、教えてもらったことを隊員たちはしっかり受け止めてくれたようでした。保護者からは入念な準備、安全に気を使った対応、楽しい体験に多くの感謝が寄せられました。そして、活動している写真が付いた修了書が一人一人の隊員に手渡されました。今年は2年3年と継続して参加してくれた隊員たちと名残惜しいお別れとなりました。協会員は左右に列を作って隊員と保護者を見送りました。

（文・佐野）

## ◆ 2020年度 親子森林教室・森しり隊 第1回活動報告

### 第1回～今年度は13名でスタート！ 初めての屋外開校式！

親子森林教室開校式は当初Lプラザでの開催予定から新型コロナウイルス対策により4月5日に澄川環境林での開催となった。全員マスク着用、手の消毒、間隔を空けての着席等々出来る限りの対策をし、隊員11名、保護者13名、協会員10名の総勢34名の参加となった。今年度は継続隊員3名に加えて新規隊員10名（女子2名、男子11名）と圧倒的に男子が多くなり2年前の男子1名とは真逆のパターンとなった。（これは男が強くなったとヌカヨロコビしてはいけない、たまたま森好きな親の子供が男の子だったのだろう）

樞棒代表幹事の開校挨拶の後、ラジオ体操で体をほぐしてから、協会員、隊員、保護者全員が自己紹介。まだみんな少し緊張しているみたい。話を聞くとやはり親御さんが森好きなんだなあと感心（うちの孫は親がダメ）



木や森のクイズで楽しむ。少し難しかったかな?!

「日本の森林全体の天然林比率は？」おっオレでも答えられねえ。。でも三択だったので子供たちは軽いノリで回答を選び番号の札に集まる。正解者は「森のご褒美」をGET！しかし、私の感覚では真っ先に男子は「蟬の抜け殻」と思っていたら、ドングリや松ぼっくり、一番人気は重しにしていた細い薪だったのにはビックリ！男は虫だろう！と思っていたら、時代は変わったのかねえー



全員マスク着用で2020森しり隊スタート！

みんな！これから1年、コロナなんかには負けずに森を満喫しようぜ！

(文・松藤)

ここからは欠かせない存在「ミスター森しり隊」の清澤隊長から1年間の活動内容を「森しり隊活動手帳」を基に説明（この手帳、要点が纏まって良く出してる！）

次に大窪さんから「森での約束事」を押し強い顔と声で説明、みんなの顔に緊張が走った？（笑）気温6℃と冷たい風の中、寒さMAXとなったところでHOTドリンクが配られ休憩でホット一息。

休憩後はクイズタイム！第1問から一見易しそうに見えて超難問「日本の森林面積は国土の何%？」第2問は

第五期を迎えた今年度の親子森林教室はこの開校式をスタートに、次回5月10日、6月、7月、10月、来年2月、3月と計7回にわたって澄川環境林を舞台に季節に合わせた森の活動が予定されている。子どもたちは澄川の森で偉大なる自然の営みを素晴らしい感性で感じ取ってほしい。そうして1年後に逞しくなった君たちの成長ぶりを見るのが、無理矢理にボラ通記事執筆を担当させられた気の弱いオジさんの楽しみになりそうだ。

## ■ 澄川の自然 8

### 水芭蕉（ミズバショウ） サトイモ科

今年は澄川の森も雪が少なく春が早いので右精進川が流れる谷あいにはミズバショウがびっしり咲き始めています。

南の上流橋から北の下流橋まで約1km位の流れに沿って白い帯を流した様な風景になります。西側の高台の山路を南から北へ向かって歩きながらの眺めが素晴らしいです。とても優雅です。（文・西野(澄))/写真・三橋

※この記事を読んでミズバショウを是非見たいという方、ご入会されませんか！（事務局長 市山:090-6697-8839）



## ■ おしらせ ～ 新型コロナウイルス感染防止に向けた森ボラの取組み

協会は新型コロナウイルスの感染が拡大し、4月12日には北海道と札幌市が「緊急共同宣言」を出したことを重く受けとめ、「新型コロナウイルス感染防止に向けた森ボラの取組み」を策定して会員に周知し、取組みを要請します。

- ・当面の活動日を半減させると共に、活動に際しては密集・密接を避けることを毎朝礼で確認し合うことなど、感染防止策の徹底を図ります。
- ・万一会員に感染者が出た場合の対応ルールを決めて感染の拡大防止に努めます。（文・事務局）

### 新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

蒔田美穂さん（中央区） 趣味：写真撮影、合唱、マンドリン演奏

## ■ 今月の幹事会

(4月7日) 出席者:市山・大窪・萩田・樞棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤

1. 2020年5,6月スケジュール(5月幹事会5月1日(金)):澄川南小関係未定。コロナ対応で変更有。
2. 2020年3月会計報告:一部の修正を検討
3. 親子森林教室:2019年度第7回修了式、2020年度第1回開校式の報告。第2回の対応。  
子どもゆめ基金からの2019、2020年度助成について報告。
4. 森林・山林多面関係:令和2年度国交付金限度額通知。本申請の内容確認。予算(案)について。
5. 野幌道有林復興支援:現地での活動は7回予定。山取り苗採取を検討。
6. 澄川南小学校スケジュール:協会の活動計画をもとに学校側で検討中。(4/10学校予定連絡有り)
7. HPの一部見直し:1年経過後の修正・追加の原案を了承。
8. チェンソーによる伐木時の退避:チェンソー操作者を班長とする班員全員で確認。安全講習を繰返す。
9. 報告 ・ 3/25 有明環境林状況調査:食害防止網、雪崩防止杭の効果を確認。
  - ・ 5月9日野幌森林公園道民の森づくりの集い:コロナ対応で中止となりました。
  - ・ 冬季整理伐状況報告:調査木の65%が終了。今年は後2回程で終了し残りは来年予定。
10. 現場対応他
  - ・ 4/17 シイタケ・ナメコの駒菌を各4,000個購入し、澄川に運搬。
  - ・ 水質検査研修会:事務所にて守屋先生に指導を受ける予定。
11. その他
  - ・ 5/7 第18回総会及び理事会:コロナ対応のため代替案で調整中。
  - ・ 軽トラック:斎藤リンゴ園チップー引取り。車検を4月中に予定。
  - ・ 研修旅行(9/23~25 予定):担当幹事(釣井、矢野)、今後研修先を検討。
  - ・ ガソリンの購入・取扱いについて:十分な注意を払って対応する。

## ■ 活動履歴

月日	活動地	参加数	活動内容
3月18日(水)	澄川	12	E-7区整理伐、樹液採取
3月19日(木)	札幌エルプラザ	—	冬季セミナー、新型コロナウイルス対応のため延期
3月22日(日)	澄川	9	第7回親子森林教室、修了式
3月25日(水)	澄川	14	E-7区整理伐、ホダ木集材
3月28日(土)	澄川(有明)	14(5)	E-7区整理伐、ホダ木集材、(有明:冬季状況観察)
3月31日(火)	澄川	15	E-7区整理伐、ホダ木本数確認
4月2日(木)	澄川	13	E-7区整理伐、親子森林教室準備
4月5日(日)	澄川	11	2020年度第1回親子森林教室開校式
4月7日(火)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
4月9日(木)	澄川	—	悪天候のため活動中止
4月11日(土)	澄川	13	E-7区整理伐、毎木調査、親子森林教室準備
4月14日(火)	札幌エルプラザ	—	冬季セミナー、新型コロナウイルス対応のため再延期
4月15日(水)	澄川	14	E-7区整理伐